

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	3100 企画事務費	予算科目	会計	款	項	目	所管課	企画政策課	担当班	企画調整班
① (成田空港)		1			一般	2	1	7				
施策体系	基本施策	3	観光の振興	根拠法令	成田空港活用協議会規約							
	施策の展開	7	観光情報発信の推進	戦略事業	37	成田空港の活用						
	施策の展開			戦略事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない			
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		日本の空の玄関口として国内、海外問わず多くの人が利用する成田空港を活用した効果的な情報発信を通じて、産業や観光の振興に取り組む。そのため、成田空港の活力、そして空港を中心とした広域的な人・物・財の流れの創出という新たな可能性を千葉県経済の活性化につなげるために、官民が連携して事業を推進していくことを目的とする成田空港活用協議会（以下、「活用協議会」という。）に参加し、その活動を通じて市のPR等を行い、認知度を高める。			
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化		⑤事務事業に対する住民からの意見等	
成田空港を活用した千葉県経済の活性化の取組を「オール千葉」でー丸となって進めるべく、県内の経済団体、企業（観光、産業、交通その他の団体）、地方自治体で組織する成田空港活用協議会が設立されたことにより、市のPR等を行うために活用協議会に参加。		活用協議会の開催する事業で、市が参加することが適当とされる事業の数が少ない。		総合戦略外部委員から「成田空港との距離的優位性から、輸出の拠点として活用する取組を考えてみてはどうか。」との意見をいただいた。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算)		単位: 千円	
1. 負担金補助及び交付金	50	成田空港活用協議会負担金	
	0		
	0		
	0		
	0		
② 特定財源の内訳 (27年度の決算)		単位: 千円	
1. 国庫支出金	0		
2. 都道府県支出金	0		
3. 地方債	0		
4. その他	0		

事業費	費目内訳	1. 負担金補助及び交付金	千円	—	50	50	50	50	
			千円						
			千円						
			千円						
			千円						
			千円						
	財源	事業費計 (A)		千円	0	50	50	50	50
		1. 国庫支出金	千円						
		2. 都道府県支出金	千円						
		3. 地方債	千円						
	4. その他	千円							
	5. 一般財源	千円	0	50	50	50	50		

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時	1 人	最大	1 人	×	10 日	=	延べ	10 人
-------	----	-----	----	-----	---	------	---	----	------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

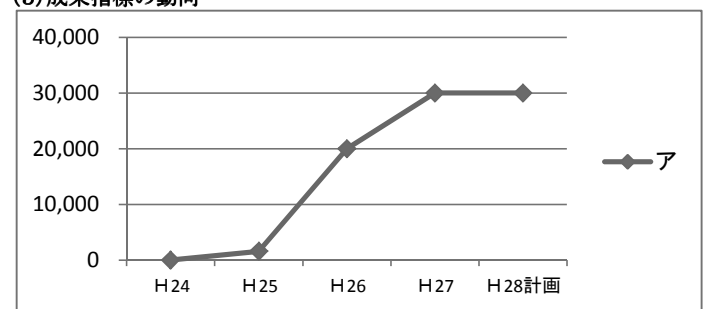
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	27年度実績 (27年度に行った主な活動)		ア 成田空港活用協議会の総会、セミナーへの参加回数	回	—	4	3	1	2
目的	成田空港活用協議会の総会、セミナー、開催事業への参加		イ 成田空港活用協議会の開催事業等への参加回数	回	—	1	1	3	2
	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
対象意図	成田空港活用協議会開催事業への参加者		ア 成田空港活用協議会開催事業等への参加人数 (参加事業のみ)	人	—	1,600	20,000	30,000	30,000
	市や特産品等のPRをして、知名度が向上することにより、新たなビジネスチャンスへの発展や市への来訪者が増加することにより、市の活性化に繋がる。		イ						
対象意図									

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			
	小さい	⑥		

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ	成果指標のタイプ	☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向	ア 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28計画
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容				今後の方向性
	下半期	商工観光課、農水産課、体育振興課など関係課と協議して、協議会へ提案する事業を検討していく。				☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()
		東京オリンピックの開催等も含め、市の魅力を発信する事業の提案を協議会へ行う。				